

所属名	事務事業名	ページ番号
農業振興課	農業近代化資金利子補給事業	2
農業振興課	有害鳥獣駆除対策事業	3
農業振興課	特産物協議会支援事業	4
農業振興課	ニューファーマー総合支援事業	5
農業振興課	トレーニングファーム整備推進事業	6
農業振興課	営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業	7
農業振興課	経営継承・発展支援事業	8
農業振興課	新規就農者育成総合対策事業	9
農業振興課	農業経営収入保険制度加入支援事業	10
農業振興課	肥料価格高騰対策支援事業	11
農業振興課	中山間地域等直接支払事業	12
農業振興課	環境保全型農業直接支払交付金交付事業	13
農業振興課	家畜防疫対策事業	14
農業振興課	死亡獣畜処理対策事業	15
農業振興課	畜産振興促進事業	16
農業振興課	自給飼料生産・利用拡大対策事業	17
農業振興課	配合飼料価格高騰対策支援事業	18
農業振興課	粗飼料価格高騰対策支援事業	19
農業振興課	飼料価格高騰対策支援事業	20
農業振興課	低コスト・高品質化条件整備事業	21
農業振興課	農業次世代人材投資資金（経営開始型）交付事業	22
農業振興課	経営所得安定対策事業	23
農業振興課	集落営農組織法人化モデル支援事業	24
農業振興課	園芸特産物集団化育成事業	25
農業振興課	農業生産資材廃棄物適正処理事業	26
農業振興課	さが園芸生産888億円推進事業	27
農業振興課	直売所・加工所連絡協議会支援事業	28
農業振興課	施設園芸導入推進事業	29
農業振興課	匠な特産物開発事業	30
農業振興課	三瀬地区地域ブランドの強化と販路拡大支援事業	31
農業振興課	富士地区地域ブランドの強化と販路拡大支援事業	32
農業振興課	6次産業化・農工商連携推進事業	33
農業振興課	農業用施設等整備支援事業（産地生産基盤パワーアップ事業）	34
農業振興課	施設園芸省エネ対策事業	35
農業振興課	特産物振興支援事業	36
農業振興課	中山間地域園芸産地活性化モデル支援事業	37
農業振興課	施設園芸燃油価格高騰対策支援事業	38
農業振興課	担い手育成総合支援協議会補助金交付事業	39
農業振興課	農業経営基盤強化資金利子助成事業	40
農業振興課	地域おこし協力隊事業	41
農業振興課	それぞれの中山間チャレンジ事業	42
農業振興課	農山漁村交流支援事業	43
農業振興課	有機農業普及啓発事業	44
農業振興課	市民農園運営経費	45
農業振興課	クreek公園管理事業	46
農業振興課	そよかぜ館管理経費	47
農業振興課	シチメンソウの里管理事業	48
農業振興課	機構集積協力金交付事業	49

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

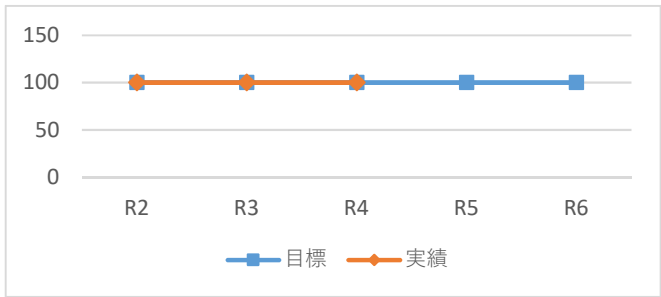
<b>事務事業名</b>	農業近代化資金利子補給事業	<b>事業期間</b>	昭和 36 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 水田対策係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

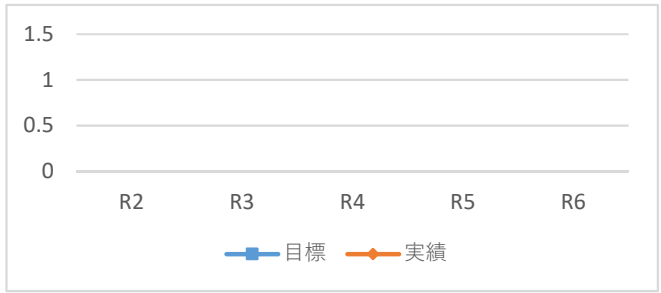
<b>事業概要・目的</b>	民間金融機関が融資する「経営改善に必要な施設資金等」に対して、利子助成を行う。 ※県の利子助成と合わせ、貸付から5年間の金利を無利子化				
<b>事業の対象者</b>	認定農業者等				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別融資制度推進会議の開催（R4年度は開催なし）。</li> <li>・経営改善資金計画の審査・認定を行った（2件）。</li> <li>・利子助成の決定及び交付を行った（2件）。</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	198	121	161		
うち佐賀市の負担額	198	121	161		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利子助成を受けて農業経営を継続している人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100	100		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	利子補給を行った農家は農業経営を継続されている。今後も助成制度による農業者の資本設備の高度化及び農業経営の近代化を図る。



成果目標達成に向けた対応策等
経営改善資金計画を適正に審査し、必要に応じて助言・指導を行う。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	有害鳥獣駆除対策事業	<b>事業期間</b>	昭和 59 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 農政係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	イノシシやアライグマ等の獣類及びカラスやカモ等の鳥類による農作物被害の軽減を図るため、佐賀市鳥獣害対策協議会及び佐賀市、神崎市、吉野ヶ里町等で構成する佐賀北部地域有害鳥獣広域駆除対策協議会が行う防除や駆除活動等の対策を推進するとともに、地域住民による自衛活動の取組を支援するなど、有害鳥獣による農作物被害の軽減を図る。				
<b>事業の対象者</b>	市内農業者				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	○佐賀市鳥獣害対策協議会 わな類の購入、侵入防止柵の設置、狩猟免許取得助成、侵入防止柵点検マニュアル作成、カモ類の食害調査及び被害低減のためのテグスの設置などの実証実験、鳥類駆除、講演会開催等 ○佐賀北部地域有害鳥獣広域駆除対策協議会 イノシシ及びアライグマの捕獲 ※令和4年度有害鳥獣駆除実績（市内）：イノシシ：2,631頭、アライグマ：316頭、鳥類：1,658羽				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	16,769	19,162	20,343		
うち佐賀市の負担額	16,769	19,162	20,343		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
有害鳥獣による農業被害額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26,696	21,931 18,740	17,166 11,035	12,400	11,800		

成果指標②						単位
有害鳥獣による農業被害面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
40.7	34 19.58	27 16.15	19	18		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	平野部ではカモによる被害が大幅に拡大した。しかし、イノシシ対策においてWM柵の点検・補修、集落内の環境整備など被害防止対策の周知や自衛活動組織の支援を行ったことで地域住民の活動意識が高まり実践活動ができたことで被害を減少させた。

### 成果目標達成に向けた対応策等

引き続き、各協議会が実施する防除や駆除の取組みを推進するとともに、市としても集落を対象とした講習会や集落点検、自衛活動組織の立ち上げや活動を支援するなど、より効果的な有害鳥獣対策を展開し農作物被害の軽減を図るため、「棲み分け対策」、「侵入防止対策」、「捕獲対策」の3本柱をさらに更に推進していく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	特産物協議会支援事業	<b>事業期間</b>	平成 18 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 地産地消推進係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	地産地消と環境にやさしい農業の推進	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	市産農産物の消費拡大と地産地消の推進を図るため、佐賀県農業協同組合などと組織する佐賀市特産物振興協議会が行う取組に要する経費に対し、助成を行う。				
<b>事業の対象者</b>	佐賀市特産物振興協議会				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファーム・マイレージ運動プレゼントキャンペーン 4回（応募総数：8,067件）</li> <li>・さがん農業サポーター体験・販売イベント 4回</li> <li>・ケーブルテレビによる農産物等PR 番組制作2本、放映回数65回</li> <li>・都市部での市産農産物PR 2回</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	3,750	3,750	3,750		
<b>うち佐賀市の負担額</b>	3,750	3,750	3,750		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ファーム・マイレージ運動協力店（実稼働店舗数）						店舗
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
44	45 44	46 43	47	48		

成果指標②						単位
さがん農業サポーター登録者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,321	4,371 4,338	4,771 4,895	5,171	5,571		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	3年ぶりの開催となった「2022佐賀国際バルーンフェスタ」うまかもん市場内で、農業サポーター登録制度の情報発信を効果的に行ったことで、新規登録者の確保に繋がった。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、新たなファーム・マイレージ運動協力店の掘り起こしを行うとともに、各種イベントにおいて消費者を対象としたさがん農業サポーターの登録PRを行う。また、市内の農家、協力店、各団体等の協力を得ながら、マスメディアやインターネット媒体を通じた情報発信等に取り組み、市産農産物の消費拡大と地産地消の推進を図る。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ニューファーマー総合支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 7 年度
担当部署・係名	農業振興課 生産者育成係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	担い手の育成と確保	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	(1) 農業技術継承事業 中山間地の農業者の高齢化、人口減少による不作付農地、耕作放棄地の解消のため、担い手確保・農業技術の継承等のためにかかる経費に対し、補助金を交付する (2) 親元就農支援給付金事業 中山間地の農業者の高齢化、人口減少による不作付農地、耕作放棄地の解消のため、親元就農する者に対して給付金を給付する。				
事業の対象者	富士・三瀬地区の (1) 農業者が組織する団体、(2) 農業者の後継者として親元就農する者				
令和4年度主な活動実績	(1) 講習会・研修会等の開催補助（計6回、参加者114名）、資材費補助（計2回、参加者24名） (2) 給付金新規受給者3名				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	219		2,171		
うち佐賀市の負担額	19		71		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
研修会等参加や新品種への取組者数（累計）					人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標実績	R6 目標実績	
56	60 0	70 138	80	90	

成果指標②					単位
親元就農給付金新規受給者					人
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績	
		3	3	3	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	(1)講習会、研修会等の参加について、R3年度はコロナ化で実施できなかった分、R4年度は参加者が増加した。(2) 親元就農支援給付金事業は目標通り達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
耕作条件不利地である中山間地の担い手の高齢化による後継者問題への対策は、重要な課題であるので、農業技術継承や新たな品目の栽培方法の研修等に活用できる事業内容を関係機関とともに広く周知していくことで、取組者の増加につなげる。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	トレーニングファーム整備推進事業	事業期間	平成 28 ~	年度
担当部署・係名	農業振興課 生産者育成係	担当課長名	山田 勝利	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	担い手の育成と確保		

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	少子高齢化に伴い、佐賀市富士町の特産物であるホウレンソウの産地維持が困難となっているなか、市内のみならず、県外や農業未経験者も含めて研修生を募集する。トレーニングファーム専用の研修施設において、研修から就農までを生産部会、J A、市、県、地域が一体となった支援を行い、地域の担い手農家の確保・育成を図る。				
事業の対象者	農業に対する強い意志と意欲ある新規就農希望者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修生募集活動（就農相談会への出展6回、サイト掲載等委託3社、短期研修2回）</li> <li>専任講師の設置（1人）</li> <li>研修生支援・就農奨励金（3組）</li> <li>居住・移住等支援金（研修時家賃助成4組、修了生家賃助成4組、修了生家屋取得費助成2組、引越費用助成1組）</li> <li>研修生用家屋の修繕、ハウスクリーニング（2件）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,048	5,585	9,124		
うち佐賀市の負担額	48	85	24		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
トレーニングファーム研修参加者数（累計）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9	13 12	17 15	21	25		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	2組（4名）の募集に対して、研修生の辞退があったため募集人員に満たなかったが、1組（2人）の研修生を受け入れ、一応の成果目標は達成した。



成果目標達成に向けた対応策等
研修生募集活動については、就農相談会への出展、ホームページや就農支援サイトの活用、農産物フェアなど各種イベントを利用した募集チラシ配布の活動に加えて、SNSの活用など多様な方法により行う。あわせて、研修生・修了生へのフォローアップをさらに充実させて、成功事例を増やしていく。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

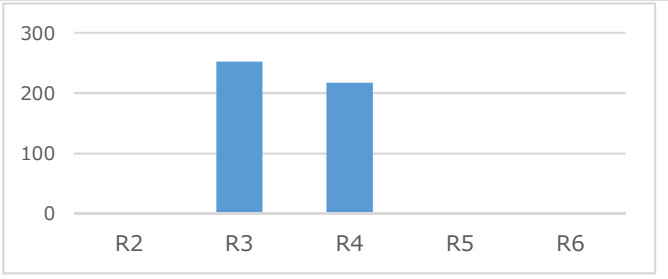
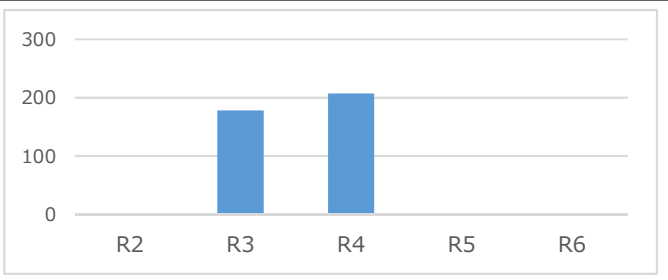
事務事業名	営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	農業振興課 施設整備支援係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	令和3年8月豪雨（8月11日～18日）による浸水害等により農作物等の被害を受けた農業者の早期の営農再開と経営の安定を図るため、令和3年度中の営農再開や次期作の栽培に必要な生産資材の購入に要する経費の一部を助成する。				
事業の対象者	農業者、農業者の組織する団体、農業協同組合				
根拠法令等	営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業費補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	-	9,093	1,757		
うち佐賀市の負担額	-	0	0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
受益戸数					戸
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
-	252	217			
活動実績②					単位
受益面積					ha
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
-	178	207			

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和元年に発生した豪雨（8月27日～28日）及び台風17号等による潮風害等、農作物等への被害を受けた農業者に補助を行うことで、再生産意欲の高揚と経営の安定を図ることができた。

同様な事業で令和3年8月豪雨による浸水等による被害を受けた農業者に補助を行うことにより、早期の営農再開と経営の安定を図ることができた。

なお、水稻・大豆については、種子の購入が令和4年度となることから令和4年度へ繰越した。

また、本事業は令和3年度8月豪雨により被害を受けた農業者等を支援するための事業で令和4年度で終了。

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	経営継承・発展支援事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 生産者育成係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	担い手の育成と確保	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地域の中心経営体等の後継者が、経営継承後の経営発展に資する計画を策定し、同計画に基づく取組みを行う場合に必要となる経費について、一人あたり最大100万円の助成を行う。これにより、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保する。				
事業の対象者	補助対象者の要件を満たした地域の中心経営体の後継者				
令和4年度 主な活動実績	【資金の交付人数と金額】 令和3年度：3人（2,954,709円） 令和4年度：0人（0円）※採択者がいなかったため				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	—	2,955	0		
うち佐賀市の負担額	—	1,478	0		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年度末時点での資金交付者の農業定着率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	100 100	100 100	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	事業開始した令和3年度から資金交付者の定着率は100%のため達成している。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
令和4年度国の事業予算額が減少し採択要件が厳しく、事業申請者が不採択となったため交付対象者がいなかった。今後も継続して、事業申請者及び交付対象者の指導・フォローアップを行い、定着率100%の継続を図る。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	新規就農者育成総合対策事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 生産者育成係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	担い手の育成と確保	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	(1)経営発展支援事業 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農後の経営発展のため機械や施設を整備する取組を支援する。これにより新規就農者を定着させ、49歳以下の担い手を増加させる。 (2)経営開始資金 経営が不安定な就農初期段階（3年以内）の青年就農者に対して、就農意欲の喚起と就農後の経営安定を図るため、一人当たり年間最大150万円の資金を交付する。これにより新規就農者を定着させ、49歳以下の担い手を増加させる。				
<b>事業の対象者</b>	(1)5年以内に経営継承する親元就農者を含む、独立・自営就農の要件を満たした認定新規就農者 (2)独立・自営就農の要件を満たした認定新規就農者				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	【資金の交付人数と金額】 (1)経営発展支援事業 令和4年度：3人(7,569,000円)（うち夫婦2人(3,909,000円)） (2)経営開始資金 令和4年度：4人(3,375,000円)（うち夫婦2人(1,125,000円)）				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>			10,944		
<b>うち佐賀市の負担額</b>			0		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年度末時点での当該年度資金交付者の農業定着率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		100	100	100		
		100				

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和4年度は基準値となるため、令和5年度の実績結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
就農後の経営安定を図るため、県やJAなどの関係機関と一体となり、営農指導など経営確立に向けて継続的に支援していく。

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	農業経営収入保険制度加入支援事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	農業振興課 水田対策係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農業経営収入保険制度に加入する農業者等に対して、保険料の一部を補助し当該制度への加入を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の度重なる流行により不安定化している農業者等の経営安定を図る。				
事業の対象者	収入保険に加入する市内の農業者等				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>収入保険の保険料個人負担分（積立金及び付加保険料を除く）の8割以内（上限10万円）を補助</li> <li>令和4年度は、保険加入対象者（更新者、新規）を対象として補助</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			11,934		
うち佐賀市の負担額			0		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
収入保険加入率						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		35 18.5	35			

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和4年度は基準値となるため、令和5年度の実績結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
収入保険制度の加入者が増加するよう、農業共済組合と連携して、「共済だより」や市報、HPでの周知のほか、共済組合主催の青色申告説明会、生産組合長会等で収入保険制度及び市補助制度の説明周知を行う。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	肥料価格高騰対策支援事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 水田対策係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアのウクライナ侵略等の影響により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が高騰していることから、肥料コストの上昇分の一部を支援することで、農業経営に及ぼす影響の緩和を図る。				
<b>事業の対象者</b>	国が行う肥料価格高騰対策事業に取り組む農業者（化学肥料の2割低減に取り組む市内の農家）				
<b>根拠法令等</b>					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>			5,848		
うち佐賀市の負担額			0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
国が行う肥料価格高騰対策事業に取り組んだ農業者数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		1,569			

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

引き続き肥料価格の高騰が見込まれ、国は何らかの対策を講じるものと考え。今後も、国、県の肥料価格高騰対策の動向を注視していく。
--

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

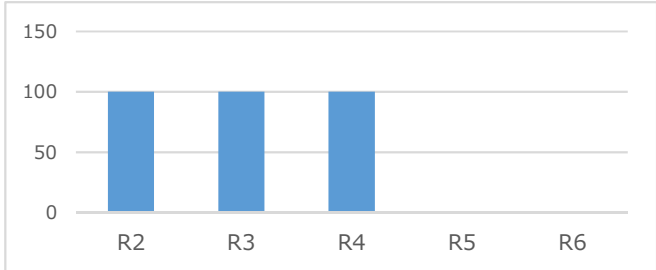
事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業	事業期間	平成 12 ~	年度
担当部署・係名	農業振興課 水田対策係	担当課長名	山田 勝利	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	担い手の育成と確保		

### 1 事務事業の基本情報

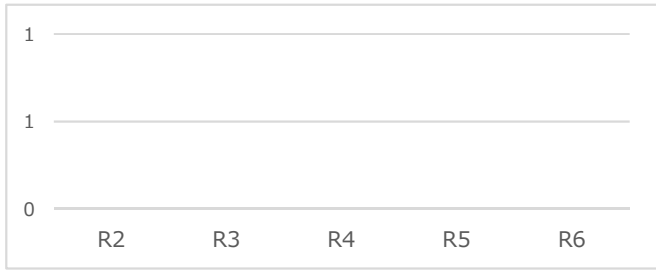
事業概要・目的	農業生産条件が不利な中山間地域で、農業生産活動を継続することを目的とし、耕作放棄の発生防止や農地の多面的機能維持に繋がっている。集落等を単位に農用地を維持管理していくための集落協定を締結し、それに従って農業生産活動を行う場合に面積に応じて一定額を交付。 ≪主な交付単価≫ 田：急傾斜地 21,000円/10a、緩傾斜地 8,000円/10a 畑：急傾斜地 11,500円/10a、緩傾斜地 3,500円/10a				
事業の対象者	集落協定に参加する農業者（富士・三瀬の全域、大和・金立・久保泉の一部）				
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、中山間地域等直接支払交付金交付要綱等				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	205,110	217,187	217,834		
うち佐賀市の負担額	52,113	55,403	55,415		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
協定農用地のうち農業生産活動等を行った面積の割合					%
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
100	100	100			



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域での農業を取り巻く環境は厳しい状況であり、「耕作放棄の防止」や「多面的機能の維持」のためには、この交付金が欠かせないものとなっている。</li> <li>・今後も、説明会や事業案内を行うことで制度の周知を図り、「耕作放棄の防止」や「多面的機能の維持」に努めていく。</li> </ul>
--

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

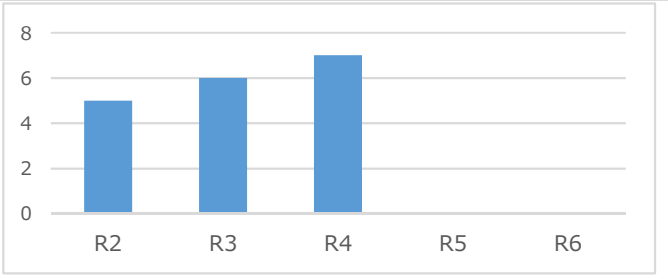
<b>事務事業名</b>	環境保全型農業直接支払交付金交付事業	<b>事業期間</b>	平成 23 ~ 令和 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 水田対策係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	地産地消と環境にやさしい農業の推進	

### 1 事務事業の基本情報

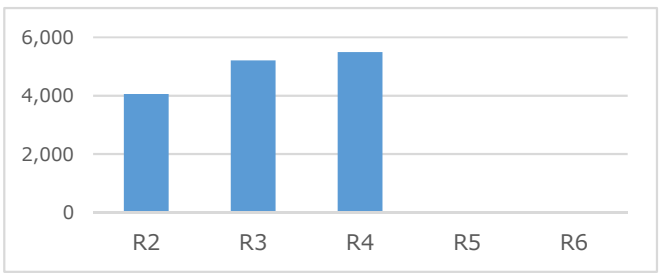
<b>事業概要・目的</b>	<p>農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進することを目的として、自然環境の保全に資する農業生産活動を行った農業者の組織する団体に対し、交付金を交付する。</p> <p>活動内容：有機農業、大豆の不耕起播種、カバークロップ、冬季湛水等</p>				
<b>事業の対象者</b>	農業者の組織する団体				
<b>根拠法令等</b>	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、環境保全型農業直接支払交付金事業実施要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	2,588	2,767	2,786		
うち佐賀市の負担額	647	691	696		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
活動の取組団体数					組織
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
5	6	7			



活動実績②					単位
活動の取組面積					a
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
4,053	5,201	5,492			



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

環境保全型農業は、慣行栽培に比べ、除草作業や防除作業に労働力が必要であり、高齢農家を中心に労働力を確保することが課題となっている。一方で、安全・安心な農産物を求める消費者のニーズや生産者の意向もあり、取組団体や面積は現状維持で推移すると思われる。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

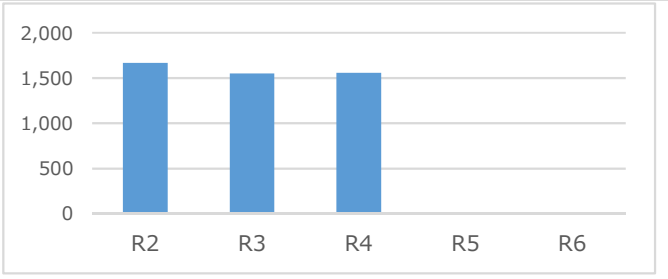
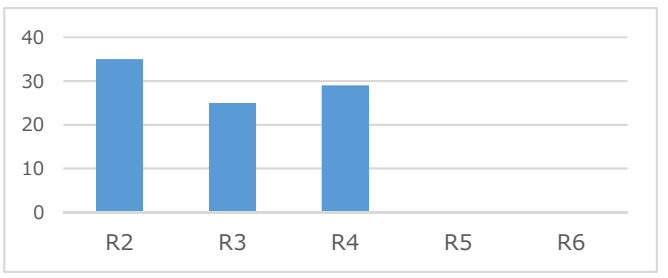
事務事業名	家畜防疫対策事業	事業期間	昭和 50 ~	年度
担当部署・係名	農業振興課 農政係	担当課長名	山田 勝利	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	農業経営力の強化		

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	家畜の健康保持及び自衛防疫を推進し、家畜伝染病の発生を防止するため、佐賀市家畜畜産物衛生指導協会が実施する予防注射事業及び消毒液購入事業に対して助成を行う。				
事業の対象者	市内畜産農家（佐賀市家畜畜産物衛生指導協会会員）				
根拠法令等	家畜伝染病予防法、佐賀市畜産関係補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	198	194	189		
うち佐賀市の負担額	198	194	189		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
予防注射接種頭数（延べ）					頭
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
1,666	1,550	1,556			
活動実績②					単位
消毒液配布畜産農家戸数					戸
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
35	25	29			

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

現在、市内の畜産農家が飼養する家畜において、家畜伝染病の発生は確認されていない。  
 ただし、近年の国内外での家畜伝染病の発生状況を鑑みると、防疫の重要性はますます高まっており、当該事業による防疫対策の継続が必要である。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	死亡獣畜処理対策事業	事業期間	昭和 50 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 農政係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	畜産農家が行う死亡獣畜の搬送に要する経費の一部を助成することにより、畜産農家の費用負担の軽減を図るとともに、適正な処理を推進することで、不法な投棄及び埋却を防止し、公衆衛生の保全を図る。				
事業の対象者	市内の畜産農家【牛、豚、馬飼養農家】				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の畜産農家が、死亡獣畜を県外の処分場まで搬送するために要した経費の一部を助成した。</li> <li>令和4年度死亡獣畜処理頭数：77頭（搬送回数：75回）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	700	600	750		
うち佐賀市の負担額	350	300	375		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
死亡獣畜の不法投棄頭数						頭
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 0	0 0	0 0	0 0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	死亡獣畜の搬送に要する経費の一部を助成することにより、適正な処理を推進し、不法な投棄及び埋却を防止できている。



成果目標達成に向けた対応策等
現在、死亡獣畜の不法投棄及び埋却は発生しておらず、公衆の衛生は保たれている。そのため、引き続き当該事業による対策の継続が必要である。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	畜産振興促進事業	<b>事業期間</b>	昭和 59 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 農政係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	優良種雌牛の導入、雌雄判別精液の交配及び優良種雌牛の自家保留に係る登記に要する費用の一部を助成することにより、仔牛の品質向上及び能力の高い乳用の後継牛の確保を図り、畜産農家の所得向上を目指す。				
<b>事業の対象者</b>	市内畜産農家（牛）				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	○佐賀県農業協同組合を通じて助成 ・優良種雌牛導入（育成牛貸付）：5頭 ・優良種雌牛凍結精液購入：20本 ・優良種雌牛自家保留登記：21頭 ○直接助成 ・優良種雌牛導入（育成牛）：9頭				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	4,991	4,669	3,059		
<b>うち佐賀市の負担額</b>	4,991	4,669	3,059		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
優良種雌牛の導入頭数						頭
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
20	18 18	18 14	18	18		

成果指標②						単位
市内対象農家戸数（牛飼養）						戸
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
25	24 25	24 25	24	24		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
②概ね達成している	導入に係る素牛価格の下落の影響により、優良種雌牛の導入頭数が減少した。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
畜産農家の資質向上と経営の安定化を図るためには、優良な雌牛の導入等が必要なことから、引き続き佐賀県農業協同組合と連携を図り、畜産の振興及び促進を図っていく。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	自給飼料生産・利用拡大対策事業	<b>事業期間</b>	平成 24 ~	年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 農政係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利	
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興		
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化		

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	輸入に依存している飼料価格が高騰しており、自給飼料の生産拡大が求められていることから、自給飼料の栽培、収穫、調整用機械の整備に要する経費に対し助成することで、飼料生産体制の整備を促進し、生産コスト低減による畜産経営の安定化を図る。				
<b>事業の対象者</b>	市内の農業者が組織する団体等				
<b>根拠法令等</b>					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>			4,550		
うち佐賀市の負担額			1,050		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
交付団体数					個	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		1				
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

引き続き飼料価格の高騰が見込まれるため、国産飼料の生産拡大に必要な機械への支援については要望が高まると考える。
---

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	配合飼料価格高騰対策支援事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	農業振興課 農政係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ウクライナ情勢の不安定化等による輸入穀物を原料とする配合飼料価格の高騰により、畜産経営体の負担が増加していることから、国の飼料価格高騰対策である「配合飼料価格安定制度」に畜産経営体が負担する積立金の一部を補助することにより、畜産経営の維持及び本市畜産の振興を図る。 <<補助の金額>> 令和4年度の契約数量1 t あたり200円				
事業の対象者	配合飼料価格安定制度に加入している市内に飼育場所を有する畜産経営体				
根拠法令等					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			4,332		
うち佐賀市の負担額			0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
対象畜産経営体数					経営体
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		30			

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和4年度限りの事業である。次年度以降は、畜産経営体が置かれている状況や国・県の動向を注視しながら、事業実施の是非を含めて検討する。</p>
---

# 令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	粗飼料価格高騰対策支援事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 令和 4 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 農政係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	新型コロナウイルス感染拡大やウクライナ情勢の影響等による粗飼料価格の高騰により、酪農経営体の負担が増加していることから、粗飼料価格の高騰分に対し補助を行うことにより、酪農経営体の生産意欲の維持と経営の安定化を図る。 <<補助の金額>> 飼養する乳用牛1頭あたり10,000円				
<b>事業の対象者</b>	市内酪農経営体				
<b>根拠法令等</b>					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>			1,320		
うち佐賀市の負担額			0		

## 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
対象酪農経営体数					経営体
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		7			

活動実績②					単位
市内酪農経営体が飼養している乳用牛数					頭
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		132			

## 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和4年度限りの事業である。次年度以降は、酪農経営体が置かれている状況や国・県の動向を注視しながら、事業実施の是非を含めて検討する。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	飼料価格高騰対策支援事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 令和 4 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 農政係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、海外からの輸入に依存している飼料の価格高騰に伴い、経営に大きな影響を受けている畜産経営体の営農意欲の維持を図る。 <補助の金額> 令和4年10～12月に購入した配合飼料、単味飼料等1トンあたり3,300円				
<b>事業の対象者</b>	国の配合飼料価格安定制度に加入していない市内畜産経営体				
<b>根拠法令等</b>					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>			535		
うち佐賀市の負担額			0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
対象畜産経営体数					経営体
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		7			

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和4年度限りの事業である。次年度以降は、畜産経営体が置かれている状況や国・県の動向を注視しながら、事業実施の是非を含めて検討する。</p>
---

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

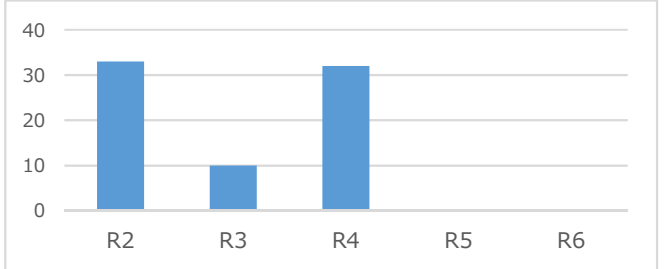
<b>事務事業名</b>	低コスト・高品質化条件整備事業	<b>事業期間</b>	令和 元 ~ 令和 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 施設整備支援係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

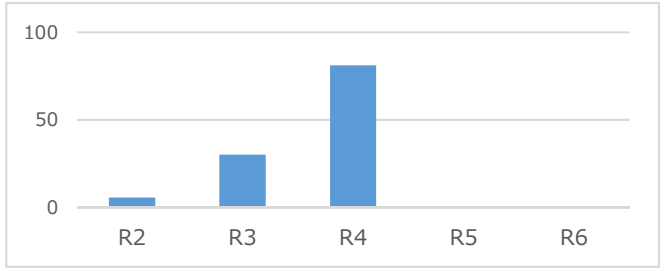
<b>事業概要・目的</b>	水田農業の担い手の経営体質を強化するため、大幅な省力化・低コスト化が可能となる新技術等の導入や、地域農業の担い手が不足する中山間地域等に効率的な営農活動を行うために必要な農業機械・施設の導入に対する支援等により、安全・安心な売れる米・麦・大豆づくりを推進する。 補助対象機械： 水稲直播用機械、排水対策用機械、逆転ロータリーなど				
<b>事業の対象者</b>	集落営農法人、農地所有適格法人、認定農業者、及び農業者の組織する団体等				
<b>根拠法令等</b>	佐賀段階 米・麦・大豆競争力強化対策事業実施要領、佐賀段階 米・麦・大豆競争力強化対策事業補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	254	3,405	1,296		
うち佐賀市の負担額	59	568	300		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
受益戸数					戸
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
33	10	32			



活動実績②					単位
受益面積					ha
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
6	30	81			



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

作付面積は今後も現状の面積で推移すると考えられるため、効率的で大規模な土地利用型農業の確立のため、引き続き担い手への支援を行う必要がある。また、低コストで安定的な生産を図るための新技術の導入について推進を行う。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	農業次世代人材投資資金（経営開始型）交付事業	<b>事業期間</b>	平成 28 ～ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 生産者育成係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	担い手の育成と確保	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	経営が不安定な就農初期段階（5年以内）の独立・自営就農の要件を満たした認定新規就農者に対して、就農意欲の喚起と就農後の経営安定を図るため、一人当たり年間最大150万円の資金を交付する。これにより新規就農者を定着させ、49歳以下の担い手を増加させる。				
<b>事業の対象者</b>	独立・自営就農の要件を満たした認定新規就農者				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	【資金の交付人数と金額】 令和4年度：26人（28,673,455円）（うち夫婦8人（7,054,133円））				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	45,797	34,939	28,673		
<b>うち佐賀市の負担額</b>	0	0	0		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年度末時点での当該年度資金交付者の農業定着率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
97.5	100 100	100 100	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	当該年度資金交付者のうち、離農者はいなかったため、目標を達成している。

成果目標達成に向けた対応策等
就農後の経営安定を図るため、県やJAなどの関係機関と一体となり、営農指導など経営確立に向けて継続的に支援していく。

## 令和4年度 事務事業実績報告シート

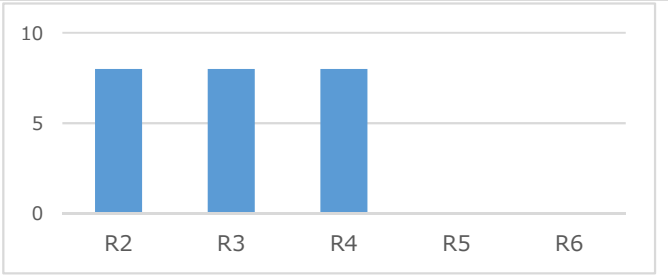
<b>事務事業名</b>	経営所得安定対策事業	<b>事業期間</b>	平成 25 ~	年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 水田対策係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利	
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興		
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化		

### 1 事務事業の基本情報

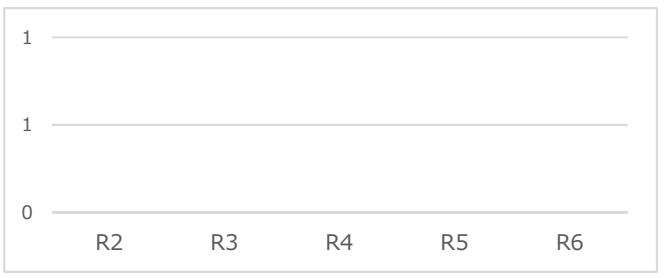
<b>事業概要・目的</b>	<p>国の経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金の事務を行っている地域農業再生協議会に対し、事業の推進のため必要となる経費を助成する。</p> <p>※ 地域農業再生協議会 県と市の行政機関と農業委員会、JA、農業共済組合、土地改良区、生産組合協議会、担い手代表者等で構成する組織。主な業務は、国の経営所得安定対策交付金の事務と、米の生産調整に関する方針決定や助言・指導を行っている。</p>				
<b>事業の対象者</b>	地域農業再生協議会				
<b>根拠法令等</b>	経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱（国・県・市）				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	4,921	5,669	5,780		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
交付団体数					個
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
8	8	8			



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

佐賀市は旧市町村単位（佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村、川副町、東与賀町、久保田町）で地域農業再生協議会が存在している。今後も農業者に対し、地域の実情に合わせた支援を行うため、8つの地域協議会が経営所得安定対策等の業務を行う見込みである。

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

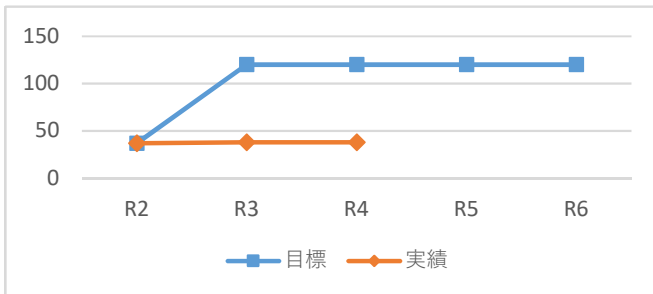
事務事業名	集落営農組織法人化モデル支援事業	事業期間	平成 28 ~ 令和 年度
担当部署・係名	農業振興課 生産者育成係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	担い手の育成と確保	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	集落営農組織の法人化は、地域農業の担い手の一つとして、さらなる農業経営発展や組織の維持・持続性を確保するために検討することが必要となっており、法人設立前後を総合的に支援する。				
事業の対象者	・集落営農組織等から法人化へ移行を検討する組織 ・集落営農組織から法人へ移行した組織等				
令和4年度 主な活動実績	・法人相互の情報共有と農業経営の強化の経費に対する補助（佐賀市農業法人連絡協議会 1件）				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,214	102	54		
うち佐賀市の負担額	1,471	102	54		

### 2 成果指標の目標及び実績

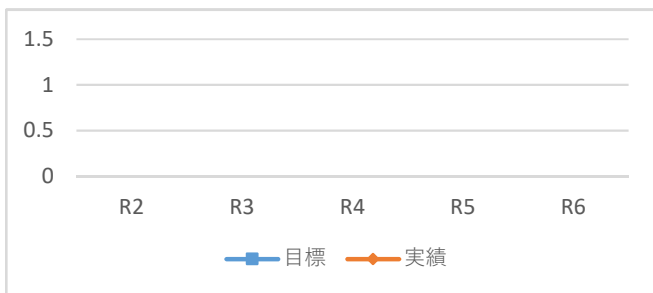
成果指標①						単位
集落営農組織から法人へ移行した組織（累計）						組織
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
37	120 38	120 38	120	120		



年度	目標	実績
R2	37	37
R3	120	38
R4	120	
R5	120	
R6	120	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	法人化をするメリットが見えていないため法人化に向けた取組みが進んでいない。新型コロナウイルスの影響等もあり、各組織や地域における話し合いの機会が少なかったことも要因の一つと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
法人化だけでなく、集落営農組織の活性化に向けた支援策も必要であり事業内容、成果目標についても見直しを検討する。

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	園芸特産物集団化育成事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 施設整備支援係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな販売と活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	園芸特産物の安定的な生産及び技術の向上を図るとともに意欲ある園芸農業の育成を図るため、農業者等で組織する協議会の活動に要する経費の一部を補助する。				
事業の対象者	佐賀県農業協同組合中部地区（佐賀市）園芸特産振興協議会				
令和4年度 主な活動実績	佐賀県農業協同組合中部地区（佐賀市）園芸特産振興協議会に補助金を交付した。 協議会の活動内容：市場視察、園芸振興先進地視察、販売促進活動 等				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	400	400	400		
うち佐賀市の負担額	400	400	400		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市における野菜・果樹・花きの作付面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
513	513 548	513 549	513	513		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	さが園芸生産 8 8 8 億円推進運動が展開されており、その効果が表れていると思われる。



成果目標達成に向けた対応策等
現在、県下で「さが園芸生産 8 8 8 億円推進運動」が展開されており、協議会を構成する生産部会においても、部会としての目標や、その実現に向けた取組を計画している。積極的な活動を促進するため、引き続き支援を行っていく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	農業生産資材廃棄物適正処理事業	<b>事業期間</b>	平成 2 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 施設整備支援係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	各農業生産資材廃棄物適正処理推進協議会が実施する、農家等から排出される廃棄農業生産資材の集団回収処理事業に対し、補助を行うことで、農家等の処理費負担軽減を行い、廃棄ビニールの焼却・不法投棄を防止し、生産地の環境保全と園芸農業振興を図る。				
<b>事業の対象者</b>	農業生産資材廃棄物適正処理推進協議会				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	市内に組織する農業生産資材廃棄物適正処理推進協議会（佐賀・諸富・大和・富士・川副・東与賀・久保田）に補助を行った。三瀬については神埼地区農業生産資材廃棄物適正処理推進協議会へ加入のため、負担金を支払った。 農業用廃プラスチック ・フィルム（ハウス、トンネル、マルチなど）・その他のプラスチック（寒冷しゃ、育苗箱、肥料袋等）				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	1,994	1,945	1,768		
うち佐賀市の負担額	1,994	1,945	1,768		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市における野菜・果樹・花きの作付面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
513	513 548	513 549	513	513		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	農家等から排出される農業用廃プラスチックの処理費用を補助することにより、農家等の負担軽減を図り、営農の維持に寄与している。



成果目標達成に向けた対応策等
農家等の処理費負担軽減により、廃棄ビニールの焼却・不法投棄を防止し、生産地の環境保全と園芸農業振興を図るため、引き続き各農業生産資材廃棄物適正処理推進協議会に対し補助を行う。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

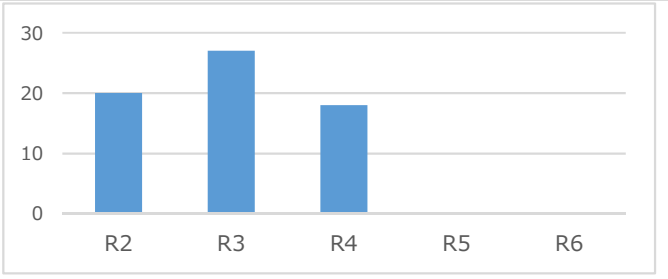
<b>事務事業名</b>	さが園芸生産 888 億円推進事業	<b>事業期間</b>	令和 元 ~ 令和 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 施設整備支援係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

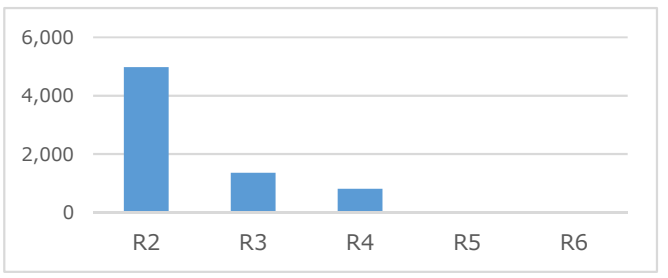
<b>事業概要・目的</b>	<p>所得向上に向けた収量・品質の向上や低コスト化、規模拡大などの収益性の高い園芸農業に取り組む農業者に対し補助金を交付することにより、農家所得向上の実現及び新規就農者等の農業への定着を図ることができる。</p> <p>導入設備・機械： 園芸用パイプハウス、いちご高設栽培施設、省力防除機械・装置 等</p>				
<b>事業の対象者</b>	農事組合法人、農地所有適格法人、認定農業者、認定新規就農者、及び農業者の組織する団体等				
<b>根拠法令等</b>	さが園芸生産 888 億円推進事業実施要領、さが園芸生産 888 億円推進事業費補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	106,065	137,265	144,813		
うち佐賀市の負担額	19,561	24,419	25,176		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
取組件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
20	27	18			



活動実績②					単位
取組面積					a
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
4,976	1,350	806			



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和4年度は18件の農家や農家の組織する団体等に対し、収量・品質の向上や低コスト化、規模拡大などに必要な機械や施設の導入に対し、助成を行った。

佐賀県が実施している「さが園芸生産 888 億円推進運動（佐賀県の園芸農業算出額を令和10年度までに888億円に拡大する）」の推進に伴い、構成団体である本市においても、当該事業の事業量の増加が見込まれる。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	直売所・加工所連絡協議会支援事業	<b>事業期間</b>	平成 13 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 地産地消推進係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	地産地消と環境にやさしい農業の推進	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	直売所・加工所の魅力を向上させ、市産農産物の消費を拡大するため、市内の直売所・加工所で構成する協議会が行う研修会、消費者交流事業などの取組に要する経費に対し、助成を行う。				
<b>事業の対象者</b>	佐賀市農産物直売所・加工所連絡協議会				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者交流事業（ふるさと自慢教室）の開催 1回（※コロナ禍の影響で規模縮小）</li> <li>・研修会の開催 2回</li> <li>・直売所PR活動（さがんパワー倶楽部スタンプラリー企画） 1回</li> <li>・農産物販売イベント出店 1回</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	300	300	300		
<b>うち佐賀市の負担額</b>	300	300	300		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
研修会、消費者交流事業等の参加者数（会員+消費者）						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
83	90 91	100 51	100	100		

成果指標②						単位
消費者交流事業の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
96	100 100	100 100	100	100		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	コロナ禍の影響により、消費者との交流事業の開催を縮小したことで、目標を達成することができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍以前の交流事業等の実施が可能となる見込みであることから引き続き、アンケート調査等により消費者ニーズを把握し、満足度の高い消費者交流事業を実施する。また、市内の直売所・加工所及び農産物等の魅力を消費者に伝え、市産農産物の消費を拡大を図る。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	施設園芸導入推進事業	<b>事業期間</b>	平成 17 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 施設整備支援係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	まとまった農地を確保することが難しく国県補助事業の対象とならない地域等における小規模ハウスの建設、みかんのブランド化を推進するための土壌水分管理資材（タイバックシート）等の導入、自然災害の被害軽減に有効な資材等の導入に対して補助を行うことで営農の継続を支援し、産地の維持に努める。				
<b>事業の対象者</b>	農業者及び農業者の組織する団体等				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	対象者に補助金を交付した。 導入した設備：土壌水分管理資材（タイバックシート）、自然災害の被害軽減に有効な資材 等				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	2,543	1,444	1,663		
うち佐賀市の負担額	2,343	1,244	1,163		

## 2 成果指標の目標及び実績

<b>成果指標①</b>						<b>単位</b>	
佐賀市における野菜・果樹・花きの作付面積						ha	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績			
513	513 548	513 549	513	513			
<b>成果指標②</b>						<b>単位</b>	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績			

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
①達成している	国県補助事業の対象とならない地域等に対する営農継続の支援及び産地の維持に対し、一定の成果が表れているものと思われる。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
営農の継続や産地の維持に向けて、引き続き対象者に支援を行っていく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	匠な特産物開発事業	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 地産地消推進係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農家の所得向上を図るため、流通関係者の求める新たな農産物の栽培や独自に新たな品目等の栽培に要する経費に対し、助成を行う。				
事業の対象者	佐賀県農業協同組合				
令和4年度 主な活動実績	・試験栽培等を行った品目 大根、コールラビ、ミディトマト、シンテップウユリ、カボチャ、あーさい、メロン、アスパラガス				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,725	894	766		
うち佐賀市の負担額	1,725	894	766		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
助成を行った取組件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12	12 10	12 8	12	12		

成果指標②						単位
助成後に売上金額が増加した取組の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
75	76 56	77 56	78	79		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	取組希望件数が年々減小傾向にある。また、栽培面積も拡大し売上金額が大きく増加した品目がある一方、収量等が低いことや生産者の高齢化で栽培を取りやめた品目もあり、目標を達成できなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
事業実施主体であるJAと連携協力し、農家の所得向上につながる品種、品目（需要が高いもの、作業負担の少ないもの、地域で初めて導入するもの等）を推進するとともに、これまでの最長3年の支援対象を、1品目から1品種に拡充することで取組件数の増加を図る。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	三瀬地区地域ブランドの強化と販路拡大支援事業	<b>事業期間</b>	平成 25 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 地産地消推進係（三瀬支所）	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	地域ブランドの強化と販路拡大の支援	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	農家等の所得安定と地域の活性化を図るため、三瀬村活性化会議が行う地域農産物等を使った加工品の研究開発及びブランド化並びに販路拡大等の活動に要する経費に対し、助成を行う。				
<b>事業の対象者</b>	三瀬村活性化会議				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品（試作品）の開発</li> <li>・ネット販売（オンラインショップ）の実施</li> <li>・特産品の販売促進活動</li> </ul> 商談会への参加：地方銀行フードセレクション、フードスタイル大阪				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	2,600	2,600	2,600		
<b>うち佐賀市の負担額</b>	0	0	0		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
試作品の数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	8 2	8 2	8	8		

成果指標②						単位
ネット販売を行う商品数						品
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
17	18 19	19 21	20	21		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
③達成できていない	新商品の開発に取り組んだものの、開発途中で商品化しても販売に繋がらないと判断し、具体的な試作品まで繋がらなかったものもあったため、目標を達成することができなかった。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
特産品の開発及び販路拡大については継続的な取組が必要だが、段階ごとに取組内容を検証し、費用対効果の向上に努める。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	富士地区地域ブランドの強化と販路拡大支援事業	事業期間	平成 28 ~	年度
担当部署・係名	農業振興課 地産地消推進係（富士支所）	担当課長名	山田 勝利	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな販回りと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	地域ブランドの強化と販路拡大の支援		

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農業者の所得の安定を図るため、富士地区内の農業者が組織する団体が行う特産品の商品開発及びブランド化並びに販路拡大等の活動に要する経費に対し、助成を行う。				
事業の対象者	富士地区の農業者が組織する団体				
令和4年度 主な活動実績	・市産農産物を使用した加工品開発、販路拡大の取組 2団体				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	900	0	1,000		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
販路拡大に取り組んだ特産品の件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	4 -	4 1	4	4		

成果指標②						単位
地域ブランド品の数						品
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	6 6	6 8	6	6		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	地元農産物を活用した商品の開発を行ったものの、地域の特産品として販売まで至らなかったものもあり、目標達成できなかった。今後、開発商品の販売や販路拡大について取り組む。



成果目標達成に向けた対応策等
富士地区内の農業者が組織する団体が新たなアイデアをもって商品開発並びに販路開拓に取り組み、農家の所得安定に繋げていけるよう継続して支援していく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	6次産業化・農商工連携推進事業	事業期間	平成 24 ～ 年度
担当部署・係名	農業振興課 地産地消推進係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化と販路拡大の支援	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の特色ある農林水産物資源の有効活用を図るため、生産者自らが加工・販売に取り組む「6次産業化」や生産者が商工業者と互いの資源や技術、ノウハウを活かし連携することで、新たな商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などを行う「農商工連携」の取組を推進し、農林水産業者の経営多角化による所得向上を図る。また、開発された6次産品を中心に、販路開拓のための支援を行う。				
事業の対象者	農林水産業者、商工業者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進員配置による相談窓口の設置</li> <li>・農林水産資源、実需者の需要の掘り起こし調査</li> <li>・生産者と実需者のマッチング及び事業化支援</li> <li>・商品開発、改良の支援（経費補助）件数6件</li> <li>・商談会への出展 2回</li> <li>・商品の販売促進活動</li> <li>・6次産品認定制度『いいモノさがし』の運用（平成27年度～）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,217	5,289	5,403		
うち佐賀市の負担額	5,217	5,289	5,403		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新たに販路を開拓した件数（延べ数）						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
106	110 113	115 119	120	125		

成果指標②						単位
『いいモノさがし』認定品の認定件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30	35 36	40 37	43	46		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	販路開拓件数については目標を達成しており、『いいモノさがし』認定品の認定件数については増加したものの、製造廃止に伴う認定取消もあり認定件数の伸び率は小さかった。



成果目標達成に向けた対応策等
農商工連携の相談に対応するため、県や農業団体等と連携し、特色ある農産物や販路開拓に意欲がある農業者、農産物の需要者及び支援団体等の情報収集に努める。また、『いいモノさがし』認定品をより一層PRし、販売支援を行うことで、本制度の周知及び認定による効果を高め、農家の所得向上を図る。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

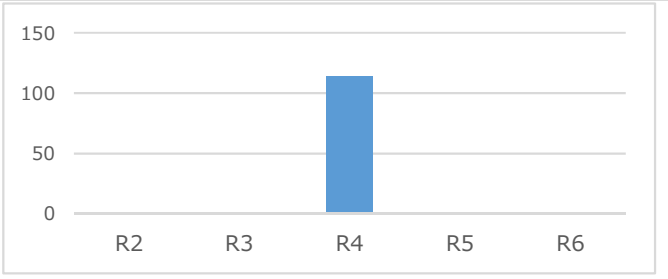
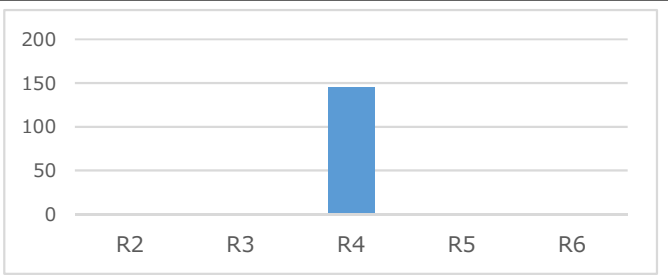
<b>事務事業名</b>	農業用施設等整備支援事業（産地生産基盤パワーアップ事業）	<b>事業期間</b>	令和 3 ～ 令和 4 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 施設整備支援係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	地域ブランドの強化と販路拡大の支援	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	野菜・果樹等の産地が創意工夫を活かし、地域の強みを活かして起こすイノベーションを促進することにより、農業の国際競争力の強化を図るため、地域の営農戦略に基づいて実施する産地の高収益化に向けた取組を支援する。まとまりをもった産地が、施設や機械等を整備することで、収益性の向上やコストの削減が図られ、市農業の今後の産地としての維持・強化が可能となる。 令和3年度：佐城地区きゅうりの低コスト耐候性ハウスの整備に対する助成（令和4年度へ繰越） 大和みかん選果場の機能強化に対する助成（令和4年度へ繰越）				
<b>事業の対象者</b>	農業協同組合、農業者が組織する団体、農業者等				
<b>根拠法令等</b>	産地生産基盤パワーアップ事業実施要領、産地生産基盤パワーアップ事業補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	0	0	464,663		
うち佐賀市の負担額	0	0	9,842		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
受益戸数					戸
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
-	-	114			
活動実績②					単位
受益面積					ha
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
-	-	145			

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

国の採択が令和3年度末だったために令和4年度に事業実施を繰越した。なお、市内各所に設置された野菜・果樹等の集出荷施設が老朽化していることから、今後、事業の対象が増えてくることが予想される。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	施設園芸省エネ対策事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 令和 4 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 施設整備支援係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	燃油価格高騰の影響を受け、経営が悪化している施設園芸農家に対し、経営費の削減につながるヒートポンプの再取得を支援することにより、燃油価格高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を推進する。				
<b>事業の対象者</b>	農業者の組織する団体等				
<b>根拠法令等</b>					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>			13,414		
うち佐賀市の負担額			0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
取り組み件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		4			

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>経営費の削減につながるヒートポンプの再取得を支援することにより、燃油価格高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を推進に対し、一定の成果が表れたと思われる。佐賀県の補助事業で令和4年度限りの事業である。</p>
---

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	特産物振興支援事業	<b>事業期間</b>	令和 2 ~ 令和 4 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 地産地消推進係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	地域ブランドの強化と販路拡大の支援	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	佐賀駅南口民間商業施設において、市産農産物や6次産品のPRや販促活動を行うことにより、市産農産物等のブランド化・販路拡大及び地産地消を推進し、農家等の所得向上を図る。また、佐賀県農林水産物等輸出促進協議会と連携し、市産農産物や加工品の輸出を促進することにより、海外での販路拡大を図る。				
<b>事業の対象者</b>	農家等、消費者、佐賀県農業協同組合、佐賀県農林水産物等輸出促進協議会				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀駅南口民間商業施設における佐賀市6次産業認定品『いいモノさがし』のPR</li> <li>・佐賀市農産物等の情報発信（テレビCM、佐賀駅改札サイネージでの配信） [新規]</li> <li>・農産物フェアの開催 8回（8日） [縮小]</li> <li>・佐賀県農林水産物等輸出促進協議会と連携した海外への輸出・商談支援</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	4,210	2,846	3,904		
うち佐賀市の負担額	4,210	2,846	3,904		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
農産物フェアでの売上額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,156	1,800 1,333	1,920 786				

成果指標②						単位
海外での市場調査、商談を行う農産物等の品目						品
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3 1	3 2				

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
③達成できていない	事業内容の見直しにより農産物フェアの実施回数を縮小（12回⇒8回）したことで目標達成に至らなかった。輸出支援では、台湾での海苔の試食PRを行い、現地での認知度向上を図った。また、佐賀県産みかんとしては初めてとなるベトナムへの輸出を支援した。

### 成果目標達成に向けた対応策等

当事業は、R4年度で終了するものの、佐賀市特産物振興協議会が行う、市産農産物等のブランド化・販路拡大及び地産地消を推進の取組として継続して実施する。輸出については、引き続き佐賀県農林水産物等輸出促進協議会と連携し、輸出に取組む農家への支援及び、輸出に関するセミナーの開催や海外バイヤーの招聘、現地の市場調査などの取組を行っていく。

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中山間地域園芸産地活性化モデル支援事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	農業振興課 施設整備支援係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中山間地域において産地活性化に積極的に取り組む園芸生産地のモデルとして、県支援事業（中山間地域園芸産地活性化モデル事業）に位置づけ、新規就農者の確保に必要なトレーナー制の運用に必要な施設や集出荷施設の整備に対して支援を行い、中山間地域の園芸産地活性化モデルとして育成する。				
事業の対象者	三瀬地区のピーマン農家				
令和4年度 主な活動実績	トレーナー制の運営に使用するピーマン雨よけハウスについては整備済 集出荷施設整備については、令和5年度事業へ繰越				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			0		
うち佐賀市の負担額			0		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
三瀬地区ピーマン作付け面積						a
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		207 207	207			

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和4年度は基準値となるため、令和5年度の実績結果から記載

#### 成果目標達成に向けた対応策等

先進農家によるトレーナー制の運用や集出荷施設の整備に対して支援することにより、三瀬地区のピーマンの産地育成に対し、一定の成果が今後表れてくるものと思われ、引き続き対象者へ支援を行っていく。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	施設園芸燃油価格高騰対策支援事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 令和 5 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 施設整備支援係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	燃油価格高騰の影響を受け、経営が悪化している施設園芸農家に対し、燃料費の一部を支援し、農業経営の安定を図る。 対象燃油（A重油、灯油、L Pガス）の価格高騰分の1/4を補助した。				
<b>事業の対象者</b>	施設園芸農業者				
<b>根拠法令等</b>					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>			20,875		
うち佐賀市の負担額			0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
補助件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
		472			

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和4年度限りの事業である。次年度以降は、燃油価格の推移について注視しながら、事業実施の是非を含めて検討する。</p>
--

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	担い手育成総合支援協議会補助金交付事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 生産者育成係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	担い手の育成と確保	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市農業の担い手となるべき効率かつ安定的な農業経営及びこれを目指して経営改善に取り組む農業経営体を育成・確保し、地域の実態に即した担い手の明確化を推進することにより望ましい農業構造の確立等に資することを目的とする				
事業の対象者	本市農業の担い手となる農業経営体				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手育成・確保活動（農業経営改善計画等作成指導、新規就農相談ほか 254件）</li> <li>・新技術・新規作物導入推進事業（農業用機械購入補助 14件）</li> <li>・スマート農業推進事業（スマート農業機械導入補助 24件・研修会・実演会等の開催3回）</li> <li>・次世代農業者育成支援事業（研修会等の開催・参加補助 154件）</li> <li>・農作業事故防止啓発活動 6回</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,109	5,845	11,347		
うち佐賀市の負担額	4,109	5,845	11,347		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
担い手育成事業等に取り組んだ件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
106	120 168	120 195	130	130		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	スマート農業の普及啓発を図り、スマート農業機器の導入を推進したことで、目標を大幅に上回った。



成果目標達成に向けた対応策等
県やJAなど担い手育成総合支援協議会の構成機関と一体となり、新たな技術に対応した農機導入の推進や経営発展に必要な研修会等への参加を促していく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	農業経営基盤強化資金利子助成事業	<b>事業期間</b>	平成 7 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 水田対策係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	農業者の負担を軽減し、効率的・安定的な農業経営体の育成を図るため、日本政策金融公庫が融資する「農業経営改善計画書に即した規模拡大や経営改善に必要な資金」に対して、利子助成を行う。 （平成24年度からは、国が全て直接助成を行うこととなったため、市での取り扱いは平成23年度までの融資となっている。）				
<b>事業の対象者</b>	認定農業者等				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	・金融機関からの申請受付 ・申請書の審査 ・利子助成の決定と交付				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	90	73	59		
うち佐賀市の負担額	45	36	30		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利子助成を受けて農業経営を継続している人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	利子補給を行った農家は農業経営を継続されている。今後も助成制度による農業者の資本設備の高度化及び農業経営の近代化を図る。



成果目標達成に向けた対応策等
市における利子助成は、平成23年度融資分までとなっているが、農家への融資制度については、引き続き周知を図っていく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	地域おこし協力隊事業	<b>事業期間</b>	平成 26 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 地産地消推進係（三瀬支所）	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	担い手の育成と確保	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	三瀬地域における定住促進と農業の活性化を図るため、地域おこし協力隊員 1 名を配置し、地域活性化の拠点である三瀬村地場産品振興部会が運営する直売所の支援等を行う。				
<b>事業の対象者</b>	三瀬地区住民				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等の受講 (初任者研修【滋賀県大津市】、刈払機取扱作業安全衛生教育講習、食品衛生責任者養成講習)</li> <li>・直売所の運営支援（会議、検討会、イベント等への参加、インスタグラムによる情報発信支援等）</li> <li>・地域住民・団体等との交流や農作業を通じた地域、農業等の魅力発見、課題把握</li> <li>・協力隊員の活動報告（新聞折込チラシ、三瀬村内400戸配布×3回）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	87	838	2,879		
<b>うち佐賀市の負担額</b>	87	838	2,879		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
三瀬村地場産品振興部会の会員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
87	90 88	90 79	90	90		

成果指標②						単位
三瀬村地場産品振興部会が運営する直売所の来店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
22,445	26,500 22,098	31,000 19,860	35,500	40,000		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
③達成できていない	協力隊員によるインスタグラム等を活用した情報発信の支援等を行ったが、部会会員の高齢化に伴う取扱商品の減少などの理由により、直売所の来店者数は伸び悩み、目標達成することができなかった。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
令和4年2月に協力隊員1人を配置し、新たな視点で地域の魅力と課題等の情報収集を行ってきた。今後は、協力隊員の活動を通して、三瀬村地場産品振興部会が運営する農産物直売所の運営支援や、農業と観光資源を活かした交流事業の展開を検討し、地域の活性化を図っていく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	それぞれの中山間チャレンジ事業	事業期間	平成 30 ~	年度
担当部署・係名	農業振興課 生産者育成係	担当課長名	山田 勝利	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	担い手の育成と確保		

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中山間地域の農業・農地を守るため、様々な課題解決に向けて集落で行われる話し合いや先進地視察等に必要経費を支援する。また、新たな中山間地域営農システムのモデル的な組織については、他地域へ波及させるために設立前後の活動を支援する。				
事業の対象者	中山間地域の農業者で組織する団体、新たな中山間地域営農システムの構築に取り組む広域組織				
令和4年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域の農業・農地の課題解決にむけた取組みの経費に対する補助（「名尾農業創生研究会」、「栗並集落」以上2件）</li> <li>新たな中山間地域営農システムの構築の経費に対する補助（「株式会社北山神水川ファーム」1件）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,523	2,625	3,214		
うち佐賀市の負担額	1,418	860	1,076		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
中山間地域における担い手数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
155	160 153	160 148	160	160		

成果指標②						単位
ドローン防除受託面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	20 59	30 80	40	50		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	対象組織においては、課題解決に向けた話し合いや取組みを継続しているが、担い手の減少を食い止め、現状維持までにも至らなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
中山間地域が抱える農業・農地の課題解決に向けて、農地の受託、新規作物の導入、農作業の省力化、農産物の作柄安定と品質向上のためドローンによる病害虫防除作業を受託し、中山間地における広域営農組織という新たな営農システムを構築し、他の地域のモデルとなるよう取組みに対し支援を行っていく。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	農山漁村交流支援事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 地産地消推進係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	都市と農村の交流推進	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	消費者の農業に触れる機会をつくり、農業への理解を醸成するとともに、農山漁村と都市との交流を促進し、農山漁村の活性化を図る。				
事業の対象者	市民等				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者を対象とした食と農の交流体験ツアー 11回（のべ参加者数166人）</li> <li>・体験交流等活動団体（グリーンツーリズム実践者）の育成支援（実践者の研修、情報交換の場の設定等）</li> <li>・ホームページ等を活用した富士町の地域資源の情報発信</li> <li>・農林水産業者が行う地域資源を活かした体験交流活動への助成 2件（のべ参加人数15,750人）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,836	2,151	2,639		
うち佐賀市の負担額	1,336	2,151	1,339		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
体験交流等活動団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
14	20 13	23 14	25	27		

成果指標②						単位
農林漁業体験参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
441	600 180	800 15,916	1,000	1,200		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	コロナウイルス感染症の予防対策を十分に取ることで地域及び実施団体の体制が整い、比較的規模の大きい交流活動が実施できたことで、農林漁業体験参加者数の目標を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ後を見据え、食と農を柱とした交流活動を一層促進していく。また、農林漁業者間での交流を進め、新たな実践者の発掘に繋げるため、市内の体験交流等の活動団体で構成されている「佐賀市グリーン・ツーリズム実践者研究会」を核としたネットワークの構築と農村ビジネスとしての確立を図っていく。</p>

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	有機農業普及啓発事業	<b>事業期間</b>	平成 21 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 地産地消推進係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	地産地消と環境にやさしい農業の推進	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	有機農業の理解を促進するため、年間を通し圃場実習を行う農業研修や親子向けの体験学校を実施する。また、有機農業の普及・拡大を図るため、有機農業の実践者が行う取組に要する経費に対し、助成を行う。				
<b>事業の対象者</b>	農家、市民				
<b>令和4年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業研修夏野菜コース 19回（登録者数25人：うち修了者 9人） 冬野菜コース 19回（登録者数19人：うち修了者13人）</li> <li>・体験学校 6回（登録者数47人）</li> <li>・有機JAS認定ほ場面積 1,436.2a（生産者数5人）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	1,132	1,128	1,258		
うち佐賀市の負担額	1,132	1,128	1,258		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
都市住民の農業研修修了者数（延べ数）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
155	170 169	180 191	190	200		

成果指標②						単位
有機JAS認定件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	6 4	8 5	10	11		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	有機JAS認定に準じた栽培に取り組んでいる農家はいるが、認定にかかる手間と費用に対して負担を感じるとの意見がある。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、アンケート調査等を参考に充実した研修内容としていくとともに、体験学校及び有機農業研修をとおして、有機農業への理解促進と、有機農産物の消費拡大を図る。あわせて、有機JAS認定に係る助成等の支援を継続して行い、有機農業に取り組む農家数の増加と有機農産物の生産拡大を図る。



## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	クreek公園管理事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 地産地消推進係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	都市と農村の交流推進	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀平野に特有のクreekを後世に継承するとともに、自然とのふれあい及び生産者と消費者の交流を通して市民の農業に対する理解を増進するため、クreek公園の管理運営を行う。				
事業の対象者	市民、来園者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園及び管理棟の管理</li> <li>・みそづくり体験の開催 参加者数327人</li> <li>・米づくり体験の開催 参加者数26人（R4はコロナ禍の影響等により、収穫祭を中止し、田植え及び稲刈り体験のみ実施。参加者へ収穫したもち米の配布を行った。）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	15,891	16,476	19,583		
うち佐賀市の負担額	15,628	16,243	19,375		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来園者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37,736	41,500 46,535	41,500 43,338	41,500	41,500	

成果指標②					単位
四季のめぐみ館利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
2,578	2,700 2,448	2,700 2,681	2,700	2,700	

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	来園者数は前年度よりも減少したものの、目標値を達成した。前年度減少していた四季のめぐみ館利用者数については加工厨房や研修室の利用者数が増加し、前年度を上回った。

#### 成果目標達成に向けた対応策等

自然環境の保全及び農村地域と都市的地域との交流拠点施設として、市民や来園者に安心・安全に利用していただけるよう、引き続き、適切に施設の管理運営を行う。

# 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	そよかぜ館管理経費	事業期間	平成 13 ~	年度
担当部署・係名	農業振興課 地産地消推進係	担当課長名	山田 勝利	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	地産地消と環境にやさしい農業の推進		

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	大和町松梅地区の活性化を図るため、地元特産品の展示・販売や地域情報の提供の場として指定管理者による管理運営を行うとともに、道の駅として観光情報の提供などを行う。				
事業の対象者	来館者及び農産物等出荷者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修室・調理実習室の貸出件数 38件（利用者数2,506人）</li> <li>・オートキャンプ場の貸出件数 1,545件（利用者数4,617人）</li> <li>・特産品の展示・販売</li> <li>・観光情報の提供等</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,937	7,301	7,438		
うち佐賀市の負担額	7,493	6,849	7,047		

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間来館者数（レジ通過者数）						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
321	322 327	323 348	323	324		

成果指標②						単位
農産物等出荷者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
494	497 509	500 518	503	506		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新規出荷者が15名増加（うち生産者6名）し、安定した農産物出荷により、年間来館者数も増加傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、大和町松梅地区の活性化を図るため、都市部との交流事業や特産品の展示・販売等を行う。また、アンケート等により利用者のニーズを把握し、道の駅としての利便性・満足度の向上を図り、適切な施設の管理運営を行う。

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	シチメンソウの里管理事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	農業振興課 地産地消推進係	担当課長名	山田 勝利
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	都市と農村の交流推進	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	シチメンソウの里への来場者の利便性を図るため、干潟よか公園に隣接するシチメンソウの里休憩所を管理し、市内の地場産品等の展示・販売や観光情報の提供を行うとともに、シチメンソウや野鳥の紹介などを行う。				
事業の対象者	市民、観光客				
令和4年度 主な活動実績	・シチメンソウの里休憩所における地場産品の展示販売及び観光情報の発信				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	356	275	298		
うち佐賀市の負担額	356	275	298		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
シチメンソウの里休憩所開館日数						日
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
63	110 53	110 106	110	110		

成果指標②						単位
干潟よか公園来園者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
261,040	270,000 245,878	280,000 233,460	290,000	300,000		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	コロナ禍の影響により、シチメンソウの里休憩所会館日数および干潟よか公園来園者数の目標を達成できなかった。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
平成 19 年度に開設して以降、公園利用者の増加に伴い、地域活性化のため休憩所において地場産品の展示販売や観光情報の発信を行っている。平成 27 年 5 月のラムサール条約湿地登録や令和 2 年 10 月の東よか干潟ビジターセンターひがさす開館、シチメンソウの生育改善に伴い、来訪者の増加が期待されることから、引き続き地域市民と連携して取り組む。

## 令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	機構集積協力金交付事業	<b>事業期間</b>	平成 26 ~	年度
<b>担当部署・係名</b>	農業振興課 水田対策係	<b>担当課長名</b>	山田 勝利	
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興		
	<b>基本事業</b>	農業経営力の強化		

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	農業者が農地中間管理機構へ農地の貸し付けを行い、機構が担い手へ農地を貸し出すことで、農地の集積・集約化を図る。 ・まとまった農地を機構に貸し付けた地域等に対し、協力金を交付する。（地域集積協力金） ・経営転換やリタイヤする農業者が、機構に全ての農地を10年以上貸し付ける場合に、協力金を交付する。（経営転換協力金）				
<b>事業の対象者</b>	農地中間管理機構へ農地を貸し付けた農業者や地域				
<b>根拠法令等</b>	農地集積・集約化対策事業実施要綱、農地集積・集約化対策事業費補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
事業費総額	0	0	0		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
機構へ貸付されている協力金交付対象農地面積					h a
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
36	35	35			

活動実績②					単位
協力金交付件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
0	0	0			

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

毎年度市報で周知を図っているが、協力金の交付条件が厳しいため、今後も交付の見込みは少ない。人・農地プランの法定化に伴う地域計画の策定作業と並行して、担い手への集積・集約が進み、事業への取り組みがなされるよう周知を図る。